

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



桜花の候、貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。共和ゴムの寺阪です。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

大学の同級生が本格歴史小説家・赤神諒としてデビューしました。記念すべきデビュー作は『大友二階崩れ』という作品で日経小説大賞を今年見事に受賞しました！大学時代の専攻が文学部（歴史）ながら文学部出身者初の弁護士として活躍する彼と、大学時代の専攻は法学ながら現在経営者の自分の共通点は「歴史マニア」です。彼とはいつもマニアックな歴史談話で大いに盛り上がっております。

今回の作品『大友二階崩れ』は大友家

重臣である吉弘鑑理が主人公。「大友二階の変」をキッカケに謀略、裏切りで巻き込まれた吉弘家。お家取り潰しという危機に直面しながらも大友家への義を貫き続ける兄・吉弘鑑理に対し、猛将で弟の吉弘鑑広は愛する妻と家族のため吉弘家生き残りを必死目指す。大友家のためなら吉弘家は潰れても構わないと言い切る兄・鑑理の方針に弟は大反対。吉弘兄弟は対立しながらも窮地に陥った吉弘家を救うべく奔走する。妻、子供そして吉弘家のため壮絶な最期を遂げた猛将・吉弘鑑広は本当に可哀想でとても辛かったです。

しかしどう考えても吉弘鑑理の考え方ややり方には納得できない！当主（トップ）として吉弘家を絶対に守り抜くべきだし、弟の吉弘鑑広の方が当主としては相応しいと思いました。また大好きな戦国武将の一人である戸次鑑連（立花道雪）が準主役として最高にカッコ良く描かれており大満足でした。吉弘兄弟の父親に受けた恩義を忘れず、主君・大友宗麟の意に反してまで窮地に陥った吉弘家を救う。吉弘鑑理の「義」なんかよりも、戸次鑑連の「義」のほうが凄いいました。

余談ですが吉弘鑑理の次男は僕が大好きな戦国武将の一人でもある高橋紹運です。また最強戦国武将とも言われる立花宗茂は高橋紹運の息子で、かつ戸次鑑連（立花道雪）の養子に当たります。この三人は義理人情にとっても厚い上に、戦いにも非常に強かったという共通点があります。そして別の共通点として「僕も赤神諒氏もこの三人が大好き」があります。笑

彼は新人作家のくせに既に5～6部構成で次作も次々作も書いているとのこと。よほど歴史が大好きなのでしょう。笑 戸次鑑連は常に準主役級で描かれており、高橋紹運、立花宗茂、島津義弘、島津家久などもこれからどんどん登場してくるそうです。今からワクワク感がとまりませんが発刊は決まっております。笑 デビュー作『大友二階崩れ』がたくさん売れば次作、次々作の発刊へとつながるそうです。皆様も是非ともご愛読いただければ幸いです。

今回は全く仕事には関係のない他愛もない話で申し訳ありませんでした。友人・赤神諒の応援のほう何卒よろしくお願ひ致します！



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第28号
2018年4月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3 和孝江戸橋ビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6740-2115

NEWS

01 組立加工部屋を増築しました！

本社3階屋上に、縦11M、長さ5M(約17坪)の組立加工部屋を増築しました。これから始まる予定の新製品の生産を行います。



02 「第91回健康フェア」に出展致しました！

2月24日(土)、25日(日)に開催されました「第91回健康フェア」(株式会社リードヘルスケア様主催)に、当社製品「Axis Former(アクシスフォーマー)」と、子会社よしかファーム株式会社の「トマトスパウダー」「明日葉パウダー」を出展致しました。

2度目の出展となる今回は、展示スペースと実演スペースの2か所で製品を紹介させて頂き、多くの方に製品を知って頂くことが出来ました。特に実演スペースでは、作業療法士やヨガ・ピラティスのインストラクターによるAxis Formerを使ったエクササイズをご体験頂き、お客様の身体の悩みに合わせた使用方法などを提案させて頂きました。

年に2回開催されるこの「健康フェア」は、薬局様やドラッグストア様を対象とした展示会であり、Axis Formerのようなフィットネス用品の出展はほとんどありません。しかし、病気になる前に、ケガをする前に「予防する」という点で、医薬品や栄養補助食品などと並ぶくらい、人々の健康をサポートする重要な役割を担ってくれる商品ですので、今後も様々な業界で商品をご紹介させて頂ければと思います。



製造部門

Producing Department

共和ゴム株式会社製造部の高橋です。先日、3月12日に新たな生産設備が導入しましたので少し紹介させていただきます。



島精機製作所の積層式自動裁断機『P-CAM131』です。

搭載されている刃は3種類あり、重ね切りに使用し、厚みが最大33mmまで裁断可能な「レシプロ式ナイフ」、切断面が綺麗に仕上がる「直刃(スグバ)」、レシプロ式ナイフや直刃ポンチでは裁断出来ない小さな穴を開ける「ポンチ」を、様々な場面で用途により使い分けが可能です。

レシプロ式ナイフの場合、刃の消耗具合を測定しており、切れ味が悪くなると自動で研磨する機能や、刃の交換が必要になった時に通知する機能もあり、裁断精度を落とすことなく加工出来ます。また厚みが厚い、高硬度な素材の加工の時にはシリコン滑材や水を少量ふきながらの加工もできます。



島精機製作所の裁断機と言えば、アパレル分野での利用を思い浮かべる方も多いと思われそうですが、炭素繊維、ゴム、スポンジ、樹脂など産業資材全般の加工に対応しております。弊社ではゴム加工品、スポンジ加工品以外にも不織布加工品も多く扱っており、トムソン型による打ち抜き加工を外注しています。自社で裁断することによって、余剰在庫を減らし、生産管理もしやすくなると期待しております。

弊社には以前から大型カッティングプロッターがあり目地フォームのスポンジ加工を行っていましたが、このP-CAMでは裁断スピードが飛躍的に向上しており、更に、部材を重ねて加工することが出来るようになった為、生産性が大幅にアップしたことによる納期の短縮にも繋がりました。

主に継手用の水膨張不織布、目地フォームのスポンジ、ゴムシートへの加工に活用していきます。更には、社内で使用する未加硫ゴム材料の裁断やその他新しい素材にも挑戦していきたいと思えます。

導入してからまだ日も浅く、どうすれば今よりスピードや精度、品質を向上出来るか、試作と検証の毎日ですが、良いモノをいち早くお客様にお届け出来る様に、製造部一同、アイデアを出し合いながら進めて行きますので、どうぞ、これからも宜しく御願致します。